



報道関係各社

柏市
三井不動産株式会社
柏の葉アーバンデザインセンター

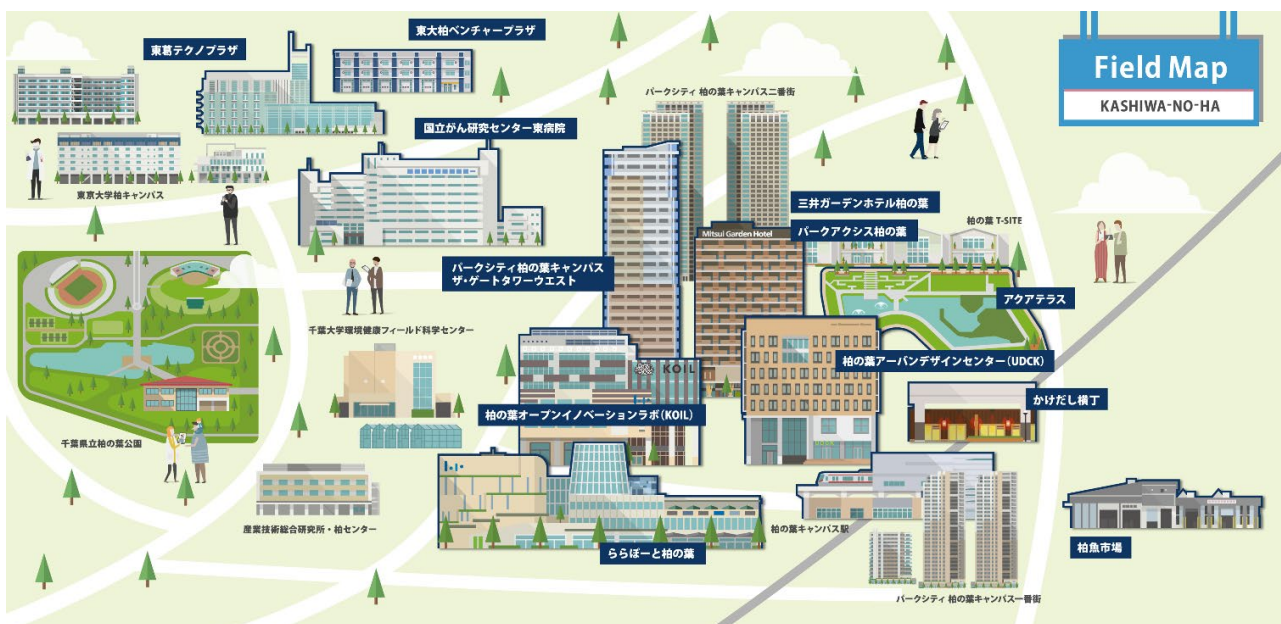
社会課題の解決や新産業創造を目指す「公・民・学」連携による実証プラットフォーム 「イノベーションフィールド柏の葉」を始動

～AI/IoT およびライフサイエンス・メディカル分野の実証プロジェクトを支援～

柏市(市長 秋山浩保)、三井不動産株式会社(代表取締役社長 菰田正信)、柏の葉アーバンデザインセンター(センター長 出口敦、以下「UDCK」)は、本日、2月19日より、柏の葉キャンパス(千葉県柏市 以下、「柏の葉」)の街を舞台にした実証プロジェクトの受け入れを一括して行う実証プラットフォーム「イノベーションフィールド柏の葉」を始動いたします。

本プラットフォームは、民間企業等の新たな製品・サービスの社会実装段階における実証プロジェクトを通年で募集し、実証フィールドを必要とするプロジェクトを受け入れるための基盤となるものです。採用プロジェクトに対しては、実証フィールドの提供者や行政、協業企業等、関係者とのコーディネーションや技術相談、メンタリング等の総合的な支援を行うことで、新産業の創造や社会課題の解決に取り組んでまいります。

なお、対象とする実証プロジェクトは、柏の葉において、人間拡張技術の研究を中核とした産学官一体の研究拠点となる「産業技術総合研究所柏センター」が本年4月より本格稼働予定であり、また、国内トップクラスのがん専門病院である「国立がん研究センター東病院」が立地することから、「AI/IoT」と「ライフサイエンス・メディカル」の2つの分野にフォーカスを絞り、募集いたします。



「イノベーションフィールド柏の葉」フィールドマップ

(1) 実証プロジェクトの募集開始

イノベーションフィールド柏の葉では、柏の葉を実証フィールドとして事業化を図る民間企業等のプロジェクトを
通年で募集いたします。プロジェクトは、AI/IoT およびライフサイエンス・メディカルの 2 分野を基本といたします。

募集要項詳細は、本日より公開した公式ウェブサイト(URL: <https://innovation-field-kashiwanoha.jp/>)にて、
ご確認いただけます。

なお、応募プロジェクトのうち、審査を通過したものは、以下のサポートを受けることが可能です。

- ・実証フィールド提供者や行政、協業企業等関係者とのコーディネーション、プロジェクト推進支援
- ・柏の葉エリアに構築済みの LoRaWAN™※1 の活用に関する技術相談
- ・柏の葉 IoT ビジネス共創ラボ※3 において連携している日本マイクロソフト社の Azure※2 活用に関する技術相談
- ・事業メンタリング(実証プロジェクトを通じたビジネスモデル構築に関するアドバイス等)

※1 LoRaWAN™: 全世界で 500 以上の通信キャリア・企業が加盟する LoRaAlliance™により、規格・仕様が策定されているグローバルでオープンな IoT 向けの無線規格。
IoT のための無線通信技術(LPWA)の 1 つで、従来の通信技術に比べ少ない消費電力で長距離通信できるのが特徴。

※2 Microsoft Azure: マイクロソフト社の提供するクラウドサービス。AI/IoT 活用に役立つプラットフォームやツールが充実している。

※3 柏の葉 IoT ビジネス共創ラボ: IoT/ビッグデータ領域のエキスパートが集まり、Microsoft Azure をプラットフォームとする IoT プロジェクトの共同検証を通じてノウハウ
を共有するコミュニティである「IoT ビジネス共創ラボ」の柏の葉支部です。

(2) 柏の葉の実証フィールドとしての強み

① 街のあらゆる機能が半径約 3km 圏に凝縮したコンパクトな街

住宅、商業施設、オフィス、ホテル、病院、大学、公園等、街のあらゆる機能が半径約 3km 圏に凝縮しており、
効率的・多角的な社会実証を可能とする環境があります。

② 12 年の実績を持つ「公・民・学」の連携体制

2006 年設立の UDCK を中心とした「公・民・学」の連携体制のもと、今日まで先進的な街づくりを実践してきた
実績のある街で、実証プロジェクトを円滑に進めるために必要な関係者調整等、現地における総合的なサポ
ートが可能です。

③ 新産業創造のプラットフォームと支援の充実

柏の葉における新産業創造の拠点として KOIL(柏の葉オープンイノベーションラボ)があり、ベンチャー企業等
に対する事業化支援、実証プロジェクト支援が充実しています。本プラットフォームにおいても、採用プロジェク
トに対し、ビジネスモデル構築に関する専門的なアドバイスやメンタリング等が可能です。

④ AI/IoT 活用に欠かせない通信環境が既に構築済

2017 年度には、AI/IoT 活用に欠かせない世界基準の LPWA(LoRaWAN™)環境を、つくば(茨城県つくば市)～
柏の葉～本郷(東京都文京区)のエリア一帯で構築済みで、プロジェクト実証においてすぐに活用いただくこと
が可能です。

(次頁に続く)

(3) イノベーションフィールド柏の葉 コアメンバー

① 柏市 (URL: <http://www.city.kashiwa.lg.jp/>)

柏市は、千葉県北西部に位置し、人口約 42 万人を擁する中核市です。この柏の葉地区には、東京大学柏キャンパス、千葉大学環境健康フィールド科学センター、東葛テクノプラザ等、国・県の各種機関や施設が集積しています。また 2019 年春には、東大柏キャンパス II 内において、AI 技術の社会実装の加速化を目指した研究拠点となる国立研究開発法人産業技術総合研究所柏センターが本格稼働及び東京大学(柏 II)産学官民連携施設(仮称)が開設します。本プロジェクトにおける「AI」「IoT・ビッグデータ」「ライフサイエンス・健康」の分野は、有望な成長分野として注目しており、今後ますますの発展が期待されます。

② 柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK) (URL: <http://www.udck.jp/>)

UDCK は、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の 7 団体が共同運営する街づくり拠点として、2006 年に開設されました。千葉県柏市柏の葉地区を拠点に公・民・学連携による国際学術研究都市・次世代環境都市づくりを推進しており、都市計画の研究、社会実験、市民活動のサポート、情報発信等を行っています。

③ 三井不動産株式会社 (URL: <https://www.mitsuifudosan.co.jp/>)

三井不動産は、多岐にわたる事業領域と国内外に広がる事業ネットワークをいかして、新たな産業創造を目指しています。千葉県柏市の柏の葉キャンパス駅周辺エリアにおいては、世界の課題を解決する街づくりモデルを創出することを目指し、環境共生・健康長寿・新産業創造の 3 つのテーマのもと、柏の葉スマートシティ事業を進めています。

(4) 新産業創造に関連する柏の葉の近年の動き

2017 年 5 月	国立がん研究センター東病院で NEXT 医療機器開発センターが設立
2017～2018 年	LoRaWAN™によるつくば～柏の葉～本郷をつなぐ広域な IoT 通信ネットワークを構築
2018 年 6 月	街づくりにおける IoT 活用に取り組む「柏の葉 IoT ビジネス共創ラボ」設立
2018 年 11 月	国立研究開発法人産業技術総合研究所の世界最高水準の大規模 AI クラウド計算システム「ABCI」が設置された新たな研究拠点「柏センター」設立
2019 年 4 月	「国立研究開発法人産業技術総合研究所 柏センター」が本格稼働予定

(5) IoT コミュニティを活用した進行中プロジェクト

柏の葉では、本プラットフォーム開始の前より、IoT の普及を目指すコミュニティ「柏の葉 IoT ビジネス共創ラボ」を中心として、柏の葉とその近隣地域における IoT 関連ビジネスの機会創出を目指し、企業、地方自治体、教育機関等様々な参画企業・団体が連携を進めてまいりました。

現時点で、既に 3 つのワーキンググループを中心とした取り組みが開始しており、今回のイノベーションフィールド柏の葉の取り組みを通じて、さらにプロジェクト受け入れの門戸を広げ、これらのワーキンググループの活動とともに、柏の葉におけるプロジェクトの実証・事業化をさらに加速・発展させてまいります。

(次頁に続く)

<柏の葉 IoT ビジネス共創ラボのワーキンググループ>

・環境ワーキンググループ

柏の葉の街全体の温度・湿度や水質・水位等の屋外環境の計測を行い、街づくりにおける施設運営管理・開発計画に活用を目指しています。

・物流ワーキンググループ

柏魚市場との連携により、市場内の商品管理とその効率化、品質・衛生管理の徹底に IoT ソリューションを活用し、日本初のスマート魚市場・物流モデルの構築を目指しています。

・ヘルスケアワーキンググループ

国立がん研究センター東病院との連携により、患者の待ち時間によるストレスの軽減や医療従事者の健康状態計測等を通じた健康経営を目指しています。

以 上